

第88回国際協同組合デー
地産地消いわて協同組合協議会 設立6周年講演会

地域の再生に協同組合は何ができるのか

— 転換期情勢とはなにか・協同組合の理念と原則から考える —

2010年7月14日(水) 13:30~15:45

ところ 岩手県産業会館(サンビル) 7階 大ホール

(盛岡市大通1-2-1 TEL019-626-8152)

いま、日本の農林漁業は危機的な状況にあります。農林水産物の輸入自由化政策のもと、国内の農林漁業は大打撃を受け、食料自給率は41%に落ち込んだままです。

一方、世界では、異常気象や新興国の食料輸入、バイオエネルギー用の農産物需要の増大、投機マネーの流入などで穀物価格の高騰が続き、途上国の飢餓が拡大しています。途上国の農地と食料の奪い合いが始まっており、お金があっても食料が輸入できない時代にはなっています。また、新自由主義・市場経済優先の考え方が世界を覆い、「弱者や地方の切り捨て」「貧困と格差」を生み出しています。

国連では、2012年を「国際協同組合年」として、人々の新しい価値観を創造しようとしています。世界の貧困と格差の拡大や環境・食料危機などの問題に対して、「資本・競争の論理」に抵抗し、「人間・共生の論理」を掲げる協同組合が、大きな役割を果たすことが期待されています。もう一度、協同組合のアイデンティティ(存在意義)・ミッション(使命)を再発見することが求められているのではないのでしょうか。

みんなで進めている地産地消運動も、こうした世界的な視野でその意義をさらに深め、確実に推進していきましょう。

13:30 開会

13:40~講演会

講師:北川太一氏

15:00~各協同組合からの
アピール発表

15:45 閉会

《講師》 北川太一(きたがわ
たいち) 福井県立大学教授
1959年兵庫県生まれ、鳥取大
学農学部助手、京都府立大学農
学部講師、福井県立大学経済・
経営学研究科准教授を経て、
08年より現職。

福井県JA生活指導会・集落
営農推進対策本部アドバイザー、
福井県普及活動外部評価委
員会委員長なども務める。
主な著書「新版農業協同組合論」
「あなたが主役、みんなが主人
公—JA女性読本」『新時代の
地域協同組合』

岩手県下の各種協同組合で頑張っている組合員・役職員のみなさんが、今日の協同組合運動の素晴らしさと今後の役割を再確認できるとつつけの講師をお招きすることができました。ご期待の上、多数のご参加をお待ちしています!

主催

岩手県協同組合間提携協議会 事務局:JA岩手県中央会
地産地消運動を促進する岩手県協同組合協議会
(地産地消いわて協同組合協議会)

事務局:JA岩手県中央会・岩手県生協連

参加お申し込み・お問合せ 岩手県生活協同組合連合会 TEL019-684-2225 FAX019-684-2227